

平成30年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	坂田 和巳
	全体計画			経費区分	-	内線	3630
事務事業名	4317 生涯学習推進事業						
所 属	130500 社会共創部・生涯学習スポーツ課						
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100608 教育費・社会教育費・生涯学習推進費					
	事業	010000 生涯学習推進事業					
事業目的				事業概要・効果			
<ul style="list-style-type: none"> ・住民に分かりやすく楽しく学ぶイベントを、民間団体や学校とネットワークをつくり発信する。 ・地域学、地元学で地域の良さを活かす方法を探る。 				<ul style="list-style-type: none"> ・様々な団体等とタイアップしながらまちづくりについて、協議や検討を加える。 ・地域を見直し、まちづくりにどう活かせるかを考え、行動できる人々をつなげて行く。 ・地域の優れた人材活用と、住民が楽しく学習できる講座を提供する。 ・須坂の自然・歴史・文化などの良さを地域住民に知っていただき、須坂が好きになる学習機会の提供。 			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の優れた人材を活用し、多様な学習ニーズに対応した「生涯学習出前講座」メニューの拡大と更なる推進を図る。 ・生涯学習指導者（リーダー）の高齢化が進み、若い指導者（リーダー）を養成する講座の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各課が連携した講演会等の開催。 ・生涯学習関係機関が連携した生涯学習スタンプラリー（仮名）の開催。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の原点に立ち返り、地域学、地元学を学びなおす機会を設ける。 ・住民参加のまちづくり推進の取り組み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の原点に立ち返り、地域学、地元学を学びなおす機会を設ける。 ・新しいまちづくりボランティアの団体支援。
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		8,057	8,372
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	20	19
一般財源		8,037	8,353
人員数(人)	正規職員	2.0	0.0
	嘱託職員	1.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	14,298.0	0.0
	嘱託職員	2,766.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	17,064.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.2
総額		25,121.0	8,372.0

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	283	須坂市民総合大学、須坂学舎、まなび一号(隊)
11節 需用費	1,722	消耗品費、食料費、印刷製本費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,052	

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	345	須坂市民総合大学、須坂学舎、まなび一号（隊）
11節 需用費	1,887	消耗品費、食料費、印刷製本費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,140	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	これからの須坂市のまちづくりを考える上で、生涯学習が必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	生涯学習の視点が、課題解決の手段として有効と考える。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	生涯学習に効率化は求めず、じっくりと課題に向き合う。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

生涯学習推進員の高齢化により、会員の減少、活動の鈍化が顕著で、どう活性化を図るかが課題である。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

地元学・地域学を学ぶ講座を通じて、これからの須坂市を考える機会ができた。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

公民館事業と整理調整を図り、生涯学習を活かした共創のまちづくりに資する事業展開を図る。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--